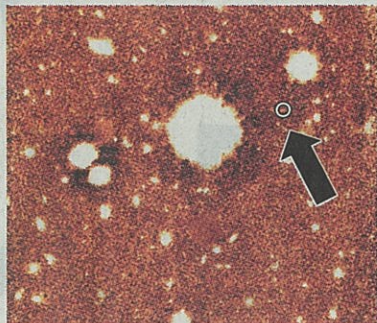


一番暗い銀河撮れた！



明るさが1等星の約30億分の1と、非常に暗い24・7等級の銀河を、すばる望遠鏡（口径8.2メートル）で撮影することに成功したと、東京大と国立天文台などが21日発表した。写真、東大提供。欧州の大型望遠鏡が観測した24等級が暗い銀河の最高記録だった。東大大学院の吉井讓教授らは、天体からの光を見えにくくする「大気のゆらぎ」の影響を少なくする「補償光学」という技術を駆使し、近赤外線分光撮像装置でかみのけ座方向を観測。地球から100億光年離れた最も暗い銀河をとらえた。

すばる望遠鏡で 1等星の30億分の1

7/22 毎日新聞 朝刊

ハワイのすばる望遠鏡を使った赤外線観測で、これまでで最も暗い銀河をとらえることに成功したと、国立天文台と東京大の研究グループが21日発表した。望遠鏡に大気の揺らぎを補正する装置を取り付け、従来の約半分の明るさの24・7等級の銀河を撮影した。8月10日発行の米天文学誌「アストロフィジカルジャーナル」に発表する。

観測したのは、地球から約100億光年離れた領域。他にも24等級台の銀河を45個とらえた。その結果、この領域の銀河

◆最も暗い銀河観測

の密度は地球の近くとほぼ同じことが分かった。研究チームの吉井讓・東京大天文学教育センタ―長は「100億光年先の銀河の密度が地球の近くと同じなら、少なくとも100億年前以降は、銀河の衝突・合体が少なかったことを示している」と話している。

最も暗い銀河観測

東大・国立天文台など成功

東京大学と国立天文台、暗い銀河を観測することなどの研究グループは二に成功したと発表した。十一日、これまでで最も観測した銀河は約百四十

7/21

日経新聞 夕刊

億年前に「ビッグバン」で宇宙が誕生して間もないころに生まれたと考えられる。銀河がつくられていく仕組みを解明するのに役立つ。

東京大の吉井讓教授らは、国立天文台のすばる望遠鏡（米ハワイ州）を使って銀河から降り注ぐ光を赤外線観測した。肉眼で見られる最も暗い天体の六等級よりもはるかに暗い二十四・七等級の銀河を見つけた。位置はかみのけ座の方向で地球から距離は百億光年以上と推定される。

研究成果は八月十日付の米科学誌アストロフィジカルジャーナルに掲載される。